

# 第10回日本臨床薬理学会九州・沖縄地方会

2026年7月11日(土)	
8:00	8:30 受付開始予定
	開会の辞
9:00	9:00~9:50(50分) 教育講演1 「心房」から始まる心アミロイドーシス — 超早期診断が拓く未来の治療戦略 — 演者:山口 尊則(佐賀大学)
10:00	9:55~10:20(25分) 会長講演 AI時代における医療倫理の新潮流 演者:今泉 聡(福岡大学)
11:00	10:30~11:50(80分) 一般口演
12:00	12:00~13:00(60分) ランチョンセミナー 家族性高コレステロール血症(FH)の病態から学ぶLDL-C低下療法の進歩 演者:小倉 正恒(順天堂大学)
13:00	13:10~14:10(60分) 特別講演 演者:植田 真一郎(琉球大学)
14:00	14:20~15:10(50分) 教育講演2 エビデンスはどこから生まれ、どこへ向かうのか 演者:有馬 久富(福岡大学)
15:00	15:20~16:20(60分) シンポジウム1 臨床薬理の最前線:基礎から臨床、そして未来へ 創薬研究に求められる疾患モデル ~臨床応用への確かな一歩~:根本 隆行(福岡大学) タクロリムスの新たなPrecision Dosingを切り拓く臨床薬理学研究:吉川 直樹(大分大学) 精神疾患での臨床薬理学研究のさらなる発展に向けた挑戦:猿渡 淳二(熊本大学)
16:00	16:30~17:30(60分) シンポジウム2 臨床研究を支える多職種の知と実践 薬学の知と実践で展開する臨床研究の事例紹介~薬学部教育から薬剤部育成まで~:大山 要(長崎大学病院) 臨床におけるファーマコメトリクスを基盤とした臨床研究の実践と普及:尾田 一貴(熊本大学病院) FMV・Single IRBで変わる治験の未来 ~薬剤師が切り拓く新たな実施基盤~:田島 壮一郎(九州大学病院)
17:00	17:35~17:50 優秀演題賞 表彰・次期会長挨拶・閉会式
18:00	18:00~20:00 情報交流会(MASTERS CAFE 福大医学部店)